

令和元年度 第3回 海老名市にぎわい振興審議会 会議録

日時等	令和2年2月20日(木) 13:30~14:10 政策審議室		
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 にぎわい振興事業について</li> <li>・令和2年度 にぎわい振興事業について</li> </ul>		
出席委員	羽田会長、三田副会長、佐藤委員、尾崎委員、門脇委員、長委員、伊藤委員、三部委員、半澤委員 計9名		
公開の可否	公開	傍聴者数	0名
事務局・説明者等	経済環境部長 谷澤 商工課長 安宅、 にぎわい振興係 係長 佐藤、主事 花上		

案 件

1 令和元年度 にぎわい振興事業について

- ◆「おでんナイトニッポン」について
- ◆名店・名産品スタンプラリーについて
- ◆「えびなの魅力発信イベント in 日本橋」について

委 員：おでんナイトのアンケートの中で海老名市への訪問数があるが、毎日というのは、食事や買い物に来る方や通勤通学も入っているのか。

事務局：入っている。記入式だと来場者にお手数をかけてしまうので、今回はボードを設置し、シールを各自貼っていただいた。来場者から比べてみると数は少ないが、今後も場面に応じたアンケートを実施し、海老名の魅力がどういったものなのかを考えていきたい。

委 員：売上はどれくらいだったか？

事務局：各店舗の売上の報告は受けてないが、県内13蔵の地酒を集めていただいた泉橋酒造のブースでは20万円を超えていると聞いている。補足で、前回と違うところは、県にもご協力いただいて「ツマミ de 乾杯宣言」の事業のPRブースを出展頂き、コースターを配布。ミス日本酒の須藤さんをお招きし、おもてなしをしていただいた。農政課では、農家さんに出展のお声かけをいただき、直接消費者に販売するように販促を強化して実施した。多くの方が立ち寄っていただいた。

委 員：過去と比べると名産品や農産物の販売イベントが増えてきている中、商店や農家さんの反応は？成果が出て喜んでいるなど情報はるか。

事務局：直接お話を聞いてはいないが、以前よりかはイベントに出向いて消費者の方に直接販売している様子が多く見受けられるような印象がある。良し悪しの声は聞けてない状況。

委員：一時すごく混む。幅が狭いうえに大勢来るから整理も大変だと思う。

事務局：その点に関しては、主催同士で協力しながら整理する人員を確保したり、ブースの配置など改善はしたところだが、やっぱり時間帯によっては混んでしまった。

委員：商工フェアの中止の理由は何か。

事務局：台風19号の影響です。

委員：例年の来場者はどれぐらいか。

委員：2万人くらい。当日は、晴天になったが、会場準備が前日であったため、天候の悪い中準備するのも危険なので、早めに検討して決定した。

委員：スタンプラリーは具体的にはどのように実施したのか。

事務局：市内の名店・名産品のお店と公共施設で台紙を配架して、台紙の地図に落とし込んである各店舗を巡り、スタンプを押してポイント数を集めるというかたちで約5か月間実施した。集めたスタンプ数に応じて特典をご用意し、応募者の中から抽選で当選者には賞品をお渡しするというかたちで実施。

委員：率直に申し上げて、応募者の数がもう少し多くてもいいのではと感じた。市役所にも台紙は置いていたのか。

事務局：1階のエントランスと商工課の窓口。ホームページでダウンロードできるようにした。次回実施時は、PR方法が強化できるように考えていく。

委員：認知されれば応募数は増えると思う。

事務局：事務局としてもその点は課題と考えている。

委員：日本橋のイベントは事前にお知らせはあったか。

委員：前回説明されていた。

委員：失礼いたしました。都合が付けば行ってみたかった。

委員：このイベントは職員の方が対応されたのか？

事務局：商工課の他に農政課とシティプロモーション課の職員も応援をお願いして従事いただきました。

委員：ちなみに前回、開催日は知らせてあったか。

委員：日付の案内はなかったが、日本橋でやるという話は聞いた。

委員：東京でやるイベントは具体的に教えていただければ、プロモーションでお手伝いできると思う。この会場は、常にどこかの地域がやっているもので、近所のOLとかスケジュールを知っている方も多くいる。山梨県と山口県のアンテナショップもあるので、慣れている人が多い。

## 2 令和2年度 にぎわい振興事業について

### ◆主ににぎわい振興事業の予定（案）について

### ◆次期「えびな元気にぎわい振興計画」について

委員：まち歩きツアーは今までとは違う切り口でいい案だと思う。交通安全の確保についてお聞かせ願いたい。

事務局：大山道のツアーを過去に実施されている海老名ガイド協会にご協力をいただく予定。参加者数に応じて少人数グループに分け、2～3名のガイドをつけて実施する。コースはさがみ野駅から海老名駅までを考えている。歩道幅も狭いところを通るので安全面には十分配慮するよう考えていきたい。

委員：スタンプラリーの報告で周知が足りなかったということで、例えば販売店の方で付加価値をつけていいのであれば、抽選会を実施するなどなにかしら付加価値をつけないと多くの方に参加していただくのは難しいのではないかと。可否のお店が出てくるだろうが、ご検討いただければと思う。

委員：事務局にお願いがありまして、酒屋さんも混ぜていただきたい。実は、今年も何件か辞めてしまったりして4～5店舗くらいしか営業していない。お肉や魚屋さんも2～3店舗。お菓子も10店舗以下の状況。いちごわいん・吟味豚など名産品を置いてある店舗も入れていただけたら景品を出すこともできるし、参加者にも知っていただける機会が増えるのではと思うので、検討をお願いしたい。

事務局：承知いたしました。検討させていただきます。

委員：はとバスのツアーはもう市の手からは離れてということでしょうか。

事務局：そうですね。昨年の夏に海老名市単体で9日間商品化していただきまして、その後は周辺の地域を回遊するルートで1か所入れていただき3月に実施という話は聞いている。

委員：来年、市政施行50周年ということで、市としてはかなり大きなイベントをやりたいような話を聞いた。具体的なものは出ているのか。にぎわいとリンクしてやるようなものはあるのか。

事務局：メイン事業について事務局まで話はきていない。

委員：昨年ラグビーでキャンプ地だったということで、私もファンクラブに入っていたが、1回しか参加できなくて申し訳なかった。今年はオリパラが控えていて、その関係で何かにぎわいでの仕掛けはあるのか。

事務局：市としてもプロジェクトチームを作って動いてはいるが、ラグビー同様にオリパラも組織委員会で色々制限があるので、詳細については決まっていらない。振興計画改訂のときに載せたので、事務局としてもお手伝いをしたいとは担当課に申し出ている。

委員：各地キャンプ地が公表されているが、海老名はどうなのか。

事務局：特にない。

- 委員：6月30日の聖火リレーも組織委員会が絡んでいるということか。
- 事務局：海老名市が通過市として決まっているところで、海老名市全体で盛り上げていきたいと思いますという動きである。
- 委員：次期計画を3年間にしたのはいいことだと思う。他市を含めて、世の中変わるスピードが速すぎて、個人としても3年前に話していたこととか今話すとおかしいと思われるときがある。市政50周年があるということ、ロマンスカーミュージアムが開業することなど、新たに生まれるにぎわい資源を次期計画に生かしていきたい。オリパラが終わってから国の圧力もかかりつつ、行政にインバウンド振興の施策が出てくると思うので、そのあたりをうまく取り込めるようなかたちがとれるよう考えていければと思う。
- 委員：インバウンドではないが、綾瀬市は基地があり、また工業団地で働いている外国人が多いようだが、海老名市は市内在住在勤の外国人はどのくらいいるのか。
- 事務局：あまり多くないと思うが、各企業、何らかの手を打って外国人を雇用していくという話は聞いている。ただ、イベントをおこなっていて外国人の方が多くなっている感覚はある。東南アジア系の方だと思う。
- 委員：そういった方達は海老名市に住民票は置いているのか。派遣の人達が私どもの会社に来られるのだが、居住地までは把握できていない。ただ、大勢来ている。
- 事務局：住民登録までは確認できてないのでこちらも数は把握できていません。
- 委員：これからも雇用の面では避けて通れない課題だと思う。ますます企業も国際的な関係を結んでいく中で異文化理解・多文化共生はしっかり子供のうちからやっていかないと通用しなくなると思う。インバウンドということだけではなく、すでにおいでになっている方に、それこそ「海老名良い街」「住み続けたい」「ここで働き続けたい」と思ってくれる人が増えていくということがにぎわいにもつながると思っている。

以上